

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	農業経営安定対策事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	麦等の推進作物への誘導等により、水田を有効活用し、農業経営における収益向上を推進するため、事業を実施する高松市地域農業再生協議会に補助金を交付し、経営所得安定対策の円滑な推進を図る。				
5年度概要	・農業者への営農計画書及びパンフレット等の配布 ・営農計画書のシステム入力による水田台帳の管理 ・交付対象作物の現地確認及び販売実績の確認 ・営農用機械・器具の整備に対する支援				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

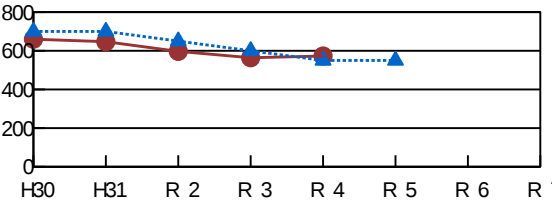
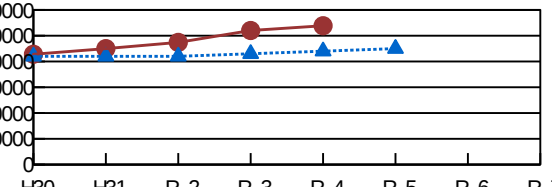
【事業の目的】

対象（何を）	市内の農業者
意図（どのような状態にしたいか）	国の経営所得安定対策を周知し、制度の活用による農業者の経営安定を図るとともに、主食用米の需要に応じた生産と、麦類や露地野菜等の産地作物の作付を推進し、食料自給率の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
経営所得安定対策等の周知人数	人	12,710	11,893	11,675	11,500	11,500
地区説明会の開催数	回	8	21	25	25	25

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	経営所得安定対策等交付申請者数	人	目標値	650	600	550	550	550
			実績値	597	564	573		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	（目標達成度） 							（達成度） 104.2%
交付申請者数については、平成30年度に米の直接支払交付金が廃止されたことに伴い減少してきたが、近年、新規就農者の増加等により、前年比は増加した。		35点						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	交付対象作物の作付面積	㎡	目標値	8,400,000	8,600,000	8,800,000	9,000,000	9,000,000
			実績値	9,480,865	10,403,267	10,772,821		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	（目標達成度） 							（達成度） 122.4%
交付対象作物の作付面積については、担い手を中心として麦類の作付面積が大幅に増加しており、目標を達成することができた。		35点						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	57,641	57,483	53,251	56,874
（事業費）	〔円〕	29,958	31,058	27,805	31,428
（職員人件費）	〔円〕	27,683	26,425	25,446	25,446

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
交付対象作物に対する交付金だけでなく、事務局の運営費等についても国の補助金で賄われており、令和4年度から事務局運営費である推進事務費が減額されてきており、現地確認用タブレット導入など事業のデジタル化の推進に支障がでてきている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
新型コロナウイルス感染症の影響により、各地区説明会の開催が少なくなっていたが、コロナ禍による制限の緩和が進むにつれて説明会を開催する地区が増えてきている。郵送による制度の周知を行っている南部地域も併せて、引き続き国の戦略作物の振興、本市の特産物となり得る野菜等の作付拡大を図り、農業者の営農意欲を促進していく。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	有害鳥獣被害対策事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市内における有害鳥獣（イノシシ等）による農産物等の被害を防止し、農業生産の育成と農業施設（農道・水路）の保全を図るために、本市鳥獣被害防止計画に基づき、猟友会等による捕獲活動や農家への防護柵等設置経費の助成を行い、農作物被害の軽減を図る。				
5年度概要	イノシシ・サル対策 被害防止対策補助（捕獲）・防護柵等整備助成・箱わな導入事業 他 アライグマ対策 殺処分機用炭酸ガス代 他 その他の事業 高松市鳥獣被害対策実施隊員報酬・会計年度任用職員給料等 他				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

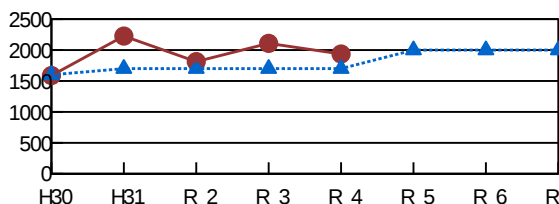
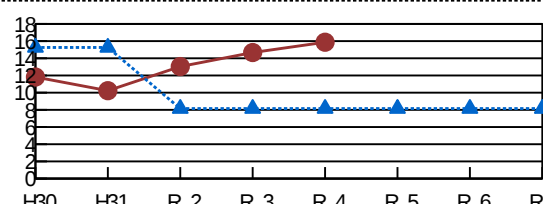
【事業の目的】

対象（何を）	市内総農家、鳥獣による被害農家数
意図（どのような状態にしたいか）	イノシシやアライグマ等有害鳥獣による、農作物被害地域住民による鳥獣を寄せ付けない鳥獣ストップゾーン（緩衝帯）の整備、集落単位での防護柵等による防護、香川県猟友会等による有害捕獲及び指定管理鳥獣捕獲等推進事業等による捕獲を強化し被害の軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
イノシシ等捕獲に係る補助金交付件数	件／年	1,816	1,898	1,936	2,000	2,000
防護柵等設置に係る補助金交付件数	件／年	45	41	27	70	70

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	有害捕獲許可による捕獲頭数	頭	目標値	1,700	1,700	1,700	2,000	2,000
			実績値	1,813	2,108	1,936		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 鳥獣被害防止計画に基づき、計画以上のイノシシの捕獲が行われた。 （目標達成度） 	 （達成度） 113.9% 35点						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	野生鳥獣による農作物被害面積	h a	目標値	8.15	8.15	8.15	8.15	8.15
			実績値	13.04	14.67	15.87		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 鳥獣被害防止計画に基づき、イノシシ捕獲頭数の増や防護柵等の設置を推進することにより、一定の農作物等の被害の軽減が図られたものの、被害面積の減少までには至らなかった。 （目標達成度） 	 （達成度） 5.3% 1点						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	48,711	44,995	48,762	52,633
（事業費）	〔円〕	27,761	28,385	27,058	30,929
（職員人件費）	〔円〕	20,950	16,610	21,704	21,704

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
有害鳥獣による農林水産業にかかる被害は、減少傾向にあるものの、イノシシに関しては高止まりが続き、他の鳥獣についても年度によって増減することから、継続して対策していく必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
引き続き、鳥獣被害防止に努めるとともに、環境整備（鳥獣ストップゾーンの整備）、防御（集落単位での防護柵の設置等）を効率的、効果的に実施する。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	園芸産地育成推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	多様化する消費者のニーズに対応した品質と安定的な供給力を持った園芸産地の持続的発展を図るため、県オリジナル品種などの園芸作物等の生産拡大に取り組むための農業機械施設等の整備に対する支援を行う。				
5年度概要	多様化する消費者のニーズに対応した品質と安定的な供給力を持った園芸産地の持続的発展を図るため、県オリジナル品種などの園芸作物等の生産拡大に取り組むための農業機械施設等の整備に対する支援を行う。				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	インフラ・施設等整備

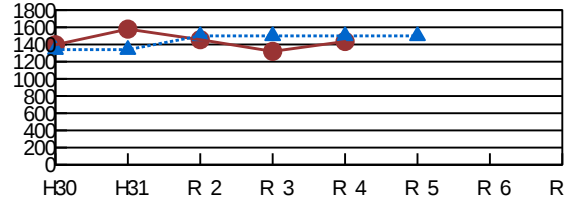
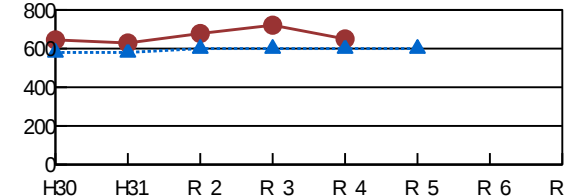
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の農業生産者
意図（どのような状態にしたいか）	市内における農業生産力の増大及び付加価値の高い作物の産地化を図り、競争力の強化を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
補助金交付件数	件	20	17	16	15	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	高松市内の野菜販売額（農協取扱分）	百万円	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
			実績値	1,456	1,320	1,435		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 担い手農家による露地・施設野菜の規模拡大やブロックリー等の単価がやや回復したことにより、前年対比の販売額は増加したものの、相対的な価格の低迷により、目標販売額を下回った。		(目標達成度)					(達成度) 95.7%
								33点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	高松市内の果実販売額（農協取扱分）	百万円	目標値	600	600	600	600	600
			実績値	678	721	650		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） ピワ及びカンキツ類が不作基調であったため、前年対比の販売額は減少したものの、担い手農家等による規模拡大等により、計画を上回った。		(目標達成度)					(達成度) 108.3%
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	207,472	93,849	69,100	166,507
（事業費）	〔円〕	196,997	83,279	59,371	156,778
（職員人件費）	〔円〕	10,475	10,570	9,729	9,729

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 県オリジナル品種等の付加価値の高い農産物の生産拡大に取り組む担い手農業者を支援することにより、園芸作物等の生産拡大を推進した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 今後も、国、県などの補助事業を積極的に活用し、コスト縮減を図りながら、園芸産地の育成を図る。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	畜産振興事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	家畜伝染病予防のほか、和牛等の効率的かつ組織的な育種改良により、産肉性等経済能力の向上を図るため、毎年度予算の範囲内において補助金を交付することにより、優良繁殖牛の導入による優良牛の作出等を促進する。				
5年度概要	（１）家畜法定伝染病予防事業 家畜伝染病予防対策、家畜法定伝染病予防事業 （２）肉用牛等生産振興事業 優良家畜導入輸送事業、繁殖和牛等増産対策事業、和牛改良基地育成事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の畜産農家
意図（どのような状態にしたいか）	家畜伝染病の発生防止、まん延防止に努め、畜産経営の安定に資する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
補助金交付頭数	頭	3,105	4,600	4,206	5,000	5,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	1戸当たりの乳用牛飼養頭数	頭	目標値		110	110	110	110
	実績値				135	123		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市内の乳用牛の増産が図られたことから、目標値を達成できた。	（目標達成度） （達成度） 111.8% 35点						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	1戸当たりの肉用牛飼養頭数	頭	目標値		130	130	130	130
	実績値				155	159		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市内の肉用牛の増産が図られたことから、目標値を達成できた。	（目標達成度） （達成度） 122.3% 35点						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	9,337	9,124	12,590	10,064
（事業費）	〔円〕	4,100	3,839	6,603	4,077
（職員人件費）	〔円〕	5,237	5,285	5,987	5,987

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 家畜伝染病の検査及び予防注射の実施と併せて、優良な繁殖和牛の導入及び優良な子牛の市内保留に対して補助を行うとともに、堆肥の利用促進を図った。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 家畜伝染病の発生・蔓延を防止するため、家畜法定伝染病対策を重点的に実施するほか、各種助成を継続することで畜産経営の安定に資する。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	土地改良課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2433
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	多面的機能支払事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	農地・農業用水等の資源の適切な保全管理が、高齢化や混住化等により困難になってきていることや、国民の価値観の変化への対応、農業生産全体の在り方を環境保全を重視したものに転換していくことが求められていることから、地域ぐるみで取り組む効果の高い共同活動や水路・農道等の長寿化のための向上活動等を実施する活動組織に活動費用の一部を補助する。（補助率 市 1 / 4 ・国 1 / 2 ・県 1 / 4 ）				
5年度概要	多面的機能支払交付金 ・農地維持支払交付金 ・資源向上支払交付金（共同） ・資源向上支払交付金（施設の長寿命化）				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理

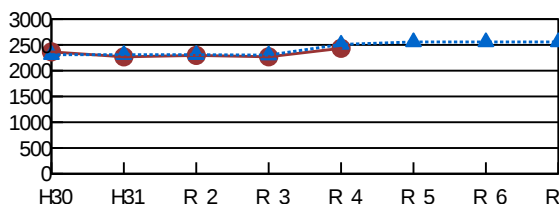
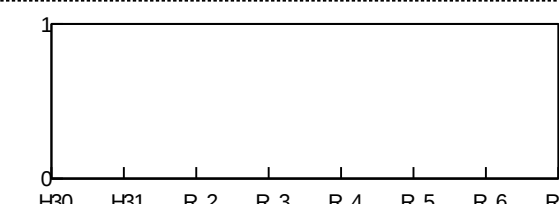
【事業の目的】

対象（何を）	地域ぐるみで農地・水保全の共同活動・向上活動を行う活動組織
意図（どのような状態にしたいか）	農村の自然や景観を農業者や農業者以外の住民を含めた地域ぐるみで守ろうとする共同意識が醸成される。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
農地・水保全管理支払事業活動組織数	団体数	31	31	33	36	36
農地・水保全管理支払事業活動組織数（向上活動）	団体数	20	20	19	20	20

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5	
	対象農用地面積		h a	目標値	2,310	2,302	2,509	2,557	2,557	
				実績値	2,296	2,269	2,434			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									(達成度)
	対象農用地面積については、目標値をやや下回ったものの、概ね達成できたものと判断しており、実績値も昨年度を上回ったものである。		(目標達成度)							97.0%
										33点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5	
				目標値						
				実績値						
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									(達成度)
	(目標達成度)									

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	152,054	151,761	155,229	182,482
（事業費）	〔円〕	144,198	141,946	145,500	166,017
（職員人件費）	〔円〕	7,856	9,815	9,729	16,465

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
農業・農業用施設の適切な保全管理について、農業者や地域住民が共同して活動、交流する機会を通じて、連帯意識を醸成しつつ事業を実施した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
農業・農業用施設の適切な保全管理について、農業者や地域住民が共同して活動、交流する機会を通じて、連帯意識の醸成が図られており、今後も継続して事業を実施する必要がある。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	森林整備事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	森林環境譲与税を活用し、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進等を行う。 また、健全な森林の育成と、公益的機能の維持向上等を図るため、地域の実態や松くい虫被害状況に応じ防除事業を実施する。				
5年度概要	- 地域の実態や松くい虫被害状況に応じた防除事業の実施 伐倒駆除（くん蒸） 2 0 立米 被害木処理 2 0 0 立米 - 森林環境譲与税を活用した森林整備事業の実施 工事：林道・作業道の維持修繕				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の市有林等の山林
意図（どのような状態にしたいか）	- 森林環境譲与税を活用し、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進等を行うことを通じ、国土の保全や水源の涵養等の公益的機能を有する本市の森林の適切な管理等を進める。 - 松くい虫防除事業等を実施することにより、健全な森林を育成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
松くい虫被害木材伐倒駆除材積	m 3	18.86	11.7	8.5	20	20

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	年間松くい虫被害材積において、伐倒駆除事業を実施した面積の比率	%	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	5.1	1.9	1.5		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和4年度は、作業予定地内の対象木について全て防除できたが、被害が少なかったために目標値まで至らなかった。 （目標達成度） 							（達成度） 7.5%
								2点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	間伐立木材積	m 3	目標値			1,900	1,900	1,900
			実績値			618		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 森林環境譲与税を活用し各種事業を実施することで、目標値には満たないものの、617 m3の保育間伐を実施することができた。 （目標達成度） 							（達成度） 32.5%
								11点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	59,561	59,299	61,876	49,755
（事業費）	〔円〕	54,324	54,769	49,902	37,781
（職員人件費）	〔円〕	5,237	4,530	11,974	11,974

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
- 森林環境譲与税を活用し、継続的に各種事業を着実に実施する必要がある。 - 被害は小康状態となっているが、今度も防除事業を総合的に実施する必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
- 森林環境譲与税を活用し、各種事業を着実に実施する。 - 地域の実態や松くい虫の被害状況に応じて、また、事前調査をしっかりと行い、適正規模で防除事業を実施する。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	市
	事務事業	林業振興事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	森林資源の造成、水源涵養および国土保全、造林技術の向上、農山村の雇用と所得の確保などを図るため分収造林事業を実施し、豊かな森林を育てる。健全な森林づくりの支援を行い、水源涵養、国土の有効利用、自然環境の保全を図る。また、森林所有者による計画的かつ一元的な森林施業の実施に不可欠な活動に要する経費に対し支援する。				
5年度概要	分収造林整備事業 4 1 9 3 , 2 0 0 円×一式 造林助成事業 5 0 h a				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

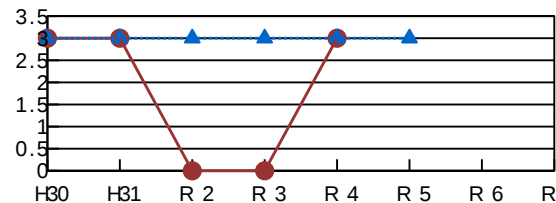
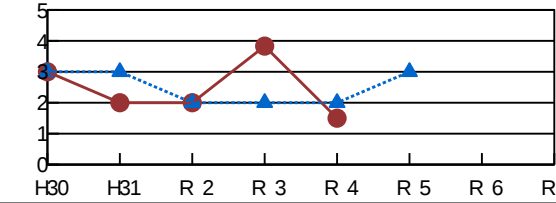
【事業の目的】

対象（何を）	分収造林地 民有林
意図（どのような状態にしたいか）	森林資源の造成、水源涵養及び国土保全、農山村の雇用と所得の確保を図るため分収造林事業を実施し、また、森林所有者による計画的森林施業の実施に不可欠な施業に要する経費に対し支援する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
造林施業面積	h a	8.86	8	5	10	10
補助金交付件数	件	2	2	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	分収造林地において造林施業を実施した面積の比率	%	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	0	0	3		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 分収造林地における森林施業について、令和 4 年度は目標値 3 . 0 % に対して、実績値 3 % の保育間伐を行い、計画通りの森林整備が行えた。 (目標達成度) 							(達成度) 100.0% 35点
	人工造林地において造林施業を実施した面積の比率	%	目標値	2	2	2	3	3
			実績値	2	3.83	1.5		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 木材価格が低迷し、造林意欲が低下している中、作業員不足も影響し、目標値を下回った。 (目標達成度) 							(達成度) 75.0% 26点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	11,943	9,882	10,456	16,739
（事業費）	〔円〕	7,454	6,107	6,714	12,997
（職員人件費）	〔円〕	4,489	3,775	3,742	3,742

【評価】

評価ランク （A～D）	B	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 森林資源を守るとともに、森林所有者の造林事業を支援することにより、林業の振興に寄与している。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 木材価格が低迷し、山林所有者の造林意欲が低下している中、計画的に森林造成を進め、健全な山づくりを行う。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	087-839-2422
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	その他
	事務事業	水産振興事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	水産業を振興する上で重要な施策である稚魚の種苗放流・増養殖の事業を実施する。				
5年度概要	(1) 栽培漁業推進事業：ヒラメ、クルマエビ、マダコ等の放流 (2) 水産増養殖事業：マダコ放流、イカ産卵期設置 (3) 漁業近代化資金等利子補給事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

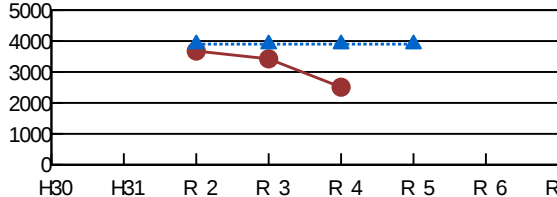
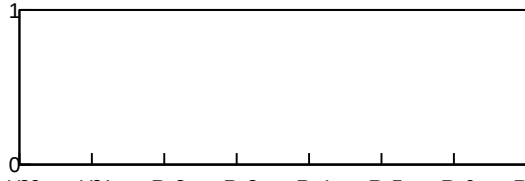
【事業の目的】

対象（何を）	市内の漁業者
意図（どのような状態にしたいか）	水産資源の増殖を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
ヒラメ放流尾数	尾	17,000	10,000	15,000	12,000	12,000
補助金交付件数	件	5	7	6	7	7

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	生鮮水産物出荷量	t	目標値	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
			実績値	3,677	3,424	2,508		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和 4 年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、魚介類の消費量が落ち込み、生鮮水産物の出荷量は落ち込み、目標値 3,900 トンに対し 2,508 トンとなった。		(目標達成度)					(達成度) 64.3%
								22点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	6,927	6,393	5,788	5,812
（事業費）	〔円〕	4,682	4,883	4,291	4,315
（職員人件費）	〔円〕	2,245	1,510	1,497	1,497

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 令和 3 年度から取り組んでいるイカの増殖事業（産卵器具の設置）は、良好な産卵状況を確認している。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 水産資源の維持・増大を図るために必要な事業であることから、引き続き、継続が必要である。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	農林水産課
	施策	農林水産業の振興		電話番号	5557
	基本事業	生産の振興		事業実施主体	民間企業
	事務事業	スマート農業推進事業		事業期間	平成 30年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	ＪＡ等の農業関係機関やＩＣＴベンター等と連携して、ＩＣＴシステム等の先端技術、ＡＩ、ロボット技術等のスマート農業の推進を図るとともに、スマート農業技術の導入・活用を促進することにより、生産性を高め、収益力を強化するためのノウハウと技術を集約し、本市における次世代の農業経営を総合的に支援するもの。				
5年度概要	本市農業の持続的な発展に向け、認定農業者や新規就農者等の農業経営の高度化に必要なスマート農業技術の導入を支援。				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

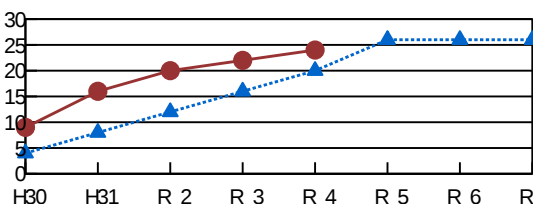
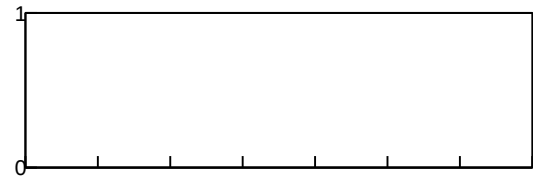
【事業の目的】

対象（何を）	認定農業者、認定新規就農者、農地所有適格法人、集落営農組織、鳥獣被害対策実施隊員で、いずれも市内で農業を営む者のうち、市内に居住し、又は所在する者
意図（どのような状態にしたいか）	若年就農者にも魅力のある「創造性豊かで持続可能な農業」を実現するため、農業経営における情報通信技術等の導入・活用を推進することにより、農作業の省力化や農作物の高品質化等を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
高松市スマート農業推進事業（旧農業ＩＣＴシステム導入活用事業）実施件数	件	3	2	2	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	高松市スマート農業推進事業（旧農業ICTシステム導入活用事業）実施件数	件	目標値	12	16	20	26	26
			実績値	20	22	24		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	スマート農業推進大会等を通じて、新規就農者等の担い手農家に対する事業の周知を図り、計画どおりに事業を実施することができた。 							35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	3,340	3,520	4,236	4,742
（事業費）	〔円〕	347	500	494	1,000
（職員人件費）	〔円〕	2,993	3,020	3,742	3,742

【評価】

評価ランク（Ａ～Ｄ）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 農業の生産性向上や農作物の高品質化のため、スマート農業技術を導入することは、本市の農業振興を図る上で重要な取組の一つであるため、導入コストの低減を図りつつ、引き続き、スマート農業の普及を推進する。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 重点取組事業として継続する。			